第71回日本透析医学会学術集会・総会

シン・災害対策～停電から学ぶ訓練の実用性～

①今回の学会・研修の内容

日本中の透析に関わる業種が集まる透析関連日本最大級の学会「日本透析医学会」に参加・発表してきました。昨今の透析医療では、AIの活用や、業務の効率化に向けての取り組みがトレンドとなっているので、そのような演題が非常に多かったです。また、私自身、透析の災害対策を重点的に取り組んでいるので、災害対策関連の演題を聴講してきましたが、災害対策でも、AIの活用や業務の効率化をされている施設が多かった印象を持ちました。

②今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

私自身5年連続7回目の学会発表でした。プレゼン能力に関しては、自信を持って臨めるようになりましたが、まだ改善の余地はあると感じています。発表では、原稿なし・アイコンタクトを常に心がけていますが、その部分に関しては、上手くいったと感じています。今までの7回の発表では、同じく透析中の停電を想定した取り組みに関する発表をして、数々の施設の方々から多くのご意見やご質問を頂きました。災害対策に関する発表は、この学会で一区切りとなりますが、今後も継続的に災害対策を取り組んでいき、更なるレベルアップを目指してやっていきたいと思います。また、別の分野での学会発表も行っていく予定ですので、プレゼン能力の更なる向上にも努めていきます。

船橋総合病院　野村 拓史　北海道科学大学出身







